

第6期 第20回サポーター運営協議会 市民参加部会活動報告書

	令和4年度	令和5年度												令和6年度					
		3月	4月	5月		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
会議日程	部会開催日	3月22日	4月20日	5月7日	5月11日	6月8日	7月13日	8月10日	9月14日	9/17 講演会	10月12日	11月9日	11/19 講演会	12月14日	1月11日	2月8日	3月14日		
	運営協議会開催日	全体会		ワークショップ															
1. センターイメージチェンジ事業																			
	ウィッシュツリー制作	募集開始	ワークショップ準備	5月7日	制作物の展示			制作物の撤去											
	月替わりパネル展示	展示団体募集	抽選・連絡	6月展示	7月展示	8月展示	9月展示	10月展示	11月展示	次年度公募企画検討	募集要項確定	出展団体募集開始	出展団体選定	展示決定団体通知	5月展示				
	スペース活用プロジェクト										スペース活用アイデア出し		準備		パネル展示に合わせてできる所から実施				
	参加体験型ワークショップ										企画提案	内容検討		担当していただける企業・団体との連携					
2. 市民交流参加事業																			
	市民団体				企画概要検討	企画紹介	8/1 担当団体公募	担当団体決定・広報原稿作成		10/1 公募開始	市民公募講演会	次年度公募企画検討							
	企業				日程・内容検討														
	学術				企画の概要決定	広報原稿作成		8/15 募集開始	講演準備	9月17日				次年度公募企画検討					
	はじめの一步											企画提案	内容検討・次期部会引継資料作成						
「今回の検討課題」		「前回の検討結果」																	
<p>1 議題</p> <p>議題1 現在進行中の事業の進捗状況について</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業</p> <p>市民活動パネル展示参加団体募集状況確認と展示団体の決定</p> <p>議題2 今後の事業の準備スケジュールについて</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業</p> <p>スペース活用プロジェクト</p> <p>2. 市民交流参加事業</p> <p>2-1 夏休み親子ワークショップ企画について</p> <p>2-2 市民活動はじめの一步ワークショップ(南山委員)</p> <p>以上</p>		<p>1 報告</p> <p>1. ワークショップ企画の進捗状況について</p> <p>12月の部会以降シモジマ担当者と連絡を取り合っていたが、5月のGWでの実施には企画の内容詳細が定まりきってなかったため、1月の段階で市民協働課として延期を決め、シモジマに連絡した。昨年のワークショップ企画の反省として、「市民活動につながる要素が必要ということになり、そうした要素を盛り込んで企画の詳細を検討してゆく必要がある。開催時期や内容については、企画案として企画の間に検討し直して6月以降の次期に申し送ることになった。</p> <p>2. センターイメージチェンジ事業</p> <p>市民活動パネル展示参加団体募集状況確認</p> <p>市民団体に向けては、市民協働課から登録団体への一斉配信メールで周知した。企業については商工振興課から2月2日配信されるメールの2/1号で配信している。</p> <p>企業パネルの展示場所・展示期間について確認</p> <p>市民活動フェアに出展していただいた企業パネルは1月一杯で展示終了した。また、市民活動フェアに出展していただいた企業とは個別にふりかえりの場を設けてアンケート結果なども報告している。</p> <p>議題2 検討事項</p> <p>2-1 広がったサポートセンターの活用について</p> <p>市民活動サポートセンター見取り図とFACE5階フロア見取り図を使って、このスペースの活用方法について、市民参加部会のセンターイメージチェンジ事業の中で検討することになった。</p> <p>富沢さんから、現在、市民協働課で検討した案について説明があった。キッズスペースや登録団体の打ち合わせスペース、交流利用スペースなどについて議論した。また、現在のサポートセンターにはないが、会議用のスクリーンやぶろじえくたの貸し出しや実物展示スペース、小型のテーブルやホワイトボードがあるフリーワークスペースなどがあると利用される可能性があることが議論された。</p> <p>サポートセンターの利用者数の推移について、部会に開示していただきたいという要望があった。</p> <p>参考：コピー機、輪転機については更新される予定、受け付けやロッカーについては移動できない。</p> <p>2-2 親子ワークショップ企画について</p> <p>今回は議題には挙げなかったが、親子ワークショップについて、開催が次期になるとしても、内容や案は今期で議論しておくことになった。</p> <p>主要検討事項</p> <p>開催時期：夏休み中がよい</p> <p>対象者：小学生(低学年・高学年)とその親</p> <p>注意：夏休みボランティア体験の中学生をワークショップのサポートボランティアとして受け入れる</p> <p>目的：SDGsと関連付けた自由研究の材料になるものが作れるワークショップ</p> <p>テーマや内容</p> <p>市民活動につながる要素をとして、制作物に対して後からでも追加できる参加型の制作物をつくるワークショップにすることや、企業と市民団体がコラボレーションしたワークショップという企画案も議論された。</p> <p>こちら側の意向と共に、担当していただくシモジマ側がどのようなことができるのかとすり合わせが必要。</p> <p>資格や詳細は今期に決めておいて、次期に引き継ぐ方が時期の部会にとっても最初に取り組めることができるので、スムーズに入れる。</p> <p>2-3. 市民活動はじめの一步ワークショップ(南山委員)</p> <p>親子ワークショップ企画と同様、市民活動はじめの一步ワークショップ企画についても、3月以降に案を検討することとなった。</p> <p>以上</p>																	

第7回 全体会の協議内容

<p>2023/12/21 市民活動サポートセンター運営協議会</p> <p>市民参加部会質疑応答事項メモと要検討課題</p> <p><質疑応答事項メモ></p> <p>企業のパネル応募について</p> <p>谷山さん：企業からの応募が振るわなかったというのだが、市と包括連携協定を結んでいる企業に案内はしているのか？</p> <p>南山：部会として協定先の企業全てに案内している認識はない。</p> <p>矢田さん：全協定企業への案内はしていないが、今回パネルを出すことになった4社は全て包括連携協定を締結している企業。市民活動フェアを通して案内した。</p> <p>谷山さん：以前、自治体と企業の包括連携協定に関する仕事をしていた。協定の内容にCSR活動を周知することが含まれているので、パネル展示を依頼した場合に断るという選択はないはず。</p> <p>矢田さん：案内の出し方については次年度以降検討する。</p> <p>西陸先生講演会の申し込み状況について</p> <p>谷山さん：広報ふなばし、しみんりょく、ちきき新聞とそれぞれ掲載のタイミングに開きがあるが、どのタイミングで案内を出すのが最も効果的なのか知りたい。</p> <p>依田さん：まず広報ふなばしで情報解禁という前提があるので・・・</p> <p>齊木さん：コー連携の事業に関して言うと、公民館に配架しているチラシが最も有効。</p> <p>公募型市民交流参加事業について</p> <p>齊藤さん：とても良い企画だと思う。もっと回数を増やしてより多くの団体に機会を与えたら良いのではないかとと思うが、何かできない理由はあるのか？</p> <p>南山：特に理由はないが、他の事業との兼ね合いで今年度は1回の実施だった。</p> <p>齊藤さん：市民活動団体がPRする機会としてはパネル展示やちょっとしたプレゼンなどになってしまうことが多く、実際の事業を通して広く市民に参加してもらえれば良いと思う。</p> <p>南山：部会に持ち帰り検討する。また、報告中では言及しなかったが、次年度の公募型事業は応募要件に登録団体であることを入れて広く「市民活動をしている個人または団体」とした。船橋市内で活動している、という要件も、登録団体に他市町村の団体もあることと整合性が取れないので入れていない。審査において登録団体かどうかのエリアで活動しているか、ということを加味すれば良いのではないかと考えている。このことによって応募のハードルが下がり、より多くの団体や個人に応募してもらえんかと思っている。</p> <p>齊藤さん：登録団体であることを要件にしても良いのでは？それで応募が少ないのであれば必ずしもということではないが、将来的には登録団体から応募がたくさんあるのが理想では？</p> <p>南山：将来的にはそうだと思うが、現状では活動していない団体も多くある。この事業を通してセンターを知ってもらうという意味でも応募に制約は設けず審査段階で見に行くのが良いと部会では考えた。</p> <p>矢田さん：前回の部会開催から1週間しか経たずに全体会を開催しているため、確認や連絡ができておらず申し訳なかったが、応募の要件については議論の余地があると課では考える。市の税金を投入して行う事業である以上、審査は必須。</p> <p>南山：募集要項に抽選とあるのは誤植。当然審査は必須と考える。</p> <p>協議会のHP作成について</p> <p>海老田さん：検討課題の中に協議会HPについて広報部会で検討、とあるが、広報部会では提案して運用面の課題などから却下された経緯がある。何か良いアイデアがあったら教えてもらいたい。</p> <p>南山：良いアイデアはない。</p> <p>柿崎さん：協議会の中では3年くらい前からHPを作ってはどうかという議論があるが、実際に作るのは簡単でも、2年任期で委員が入れ替わっていく中で誰がどのように運用するのかという課題が大きい。</p> <p>はじめの一步企画について</p> <p>柿崎さん：市民参加部会が発足した経緯は、コロナ禍で登録団体の利用率が下がったことを受けて広く一般市民に開かれたセンターにし、ひいては市民活動に興味をもってもらうことだと理解している。これまで市民参加部会が行ってきた事業はこの目的をある程度達成していると思うが、一方で公民館で行われているイベントとの違いが見えにくく、サポートセンターの独自性ももっとあったら良いと感じていた。その意味でははじめの一步企画はとも良いものだと思う。ぜひ実現してほしい。</p> <p>齊木さん：コー連携で事業をしても、ほぼ全ての参加者が70代以上で60代はとも若いね、という状況。若い世代を育てていくことがとても重要。協議会全体で応援していきましょう。</p> <p>その他</p> <p>森さん：自治会活動は市民活動に含まれるのか？自治会の中で何やりたい人もはじめの一步WSの対象になるのか？</p> <p>矢田さん：市民活動の定義は広く、町会などの地域自治活動との明確な線引きはない。質問への答えで言えば、対象になる。</p> <p><要検討事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 次年度公募型交流会の実施回数 次年度公募型交流会の応募要件 はじめの一步企画の実施時期、建て付け <p>※報告の前に、矢田さんと柿崎さんより①委員の改選の時期をまたくこと②単発×3にすると連続性が見えにくく、この2つの理由により当初の計画通り3回連続企画にした方が良くと課内で話し合っている旨ご意見をいただきました。次回部会で再検討しましょう。</p> <p>※委員改選にあたっては毎回申し込みを返しているそう。部会メンバーの大部分が再任したとしても、次期協議会で方向性や具体的な活動内容を決めるので、今期中に次年度の計画を立てても必ずしも実現できるわけではないこと。したがって、今期中に企画を練って次期への申し込み事項とし、次期中に連続で開催できるようにした方が協議会としてもスムーズだし、連続企画として見せた方が目的にかなっているのではないかと、とのご意見でした。</p>	<p>前々回検討事項</p> <p>1. 全体会報告 2023/12/21 運営協議会質疑応答事項メモと要検討事項を元に全体会の振り返りを行った。</p> <p>2. センターイメージチェンジ事業</p> <p>企業パネルの展示場所・展示期間について</p> <p>市民活動フェアに出展していただいた4社の企業パネルについては、市民協働課では今後2月末まで展示を継続する予定である。</p> <p>パネルの内容がそのままだとマンネリ化してしまうので、各企業に対して1月末をめどに展示内容の修正・更新を依頼しても良いのではないかという意見があり、市民協働課で検討されることになった。</p> <p>広がったサポートセンターの活用について</p> <p>大きく広がったサポートセンターのスペースの活用方法について、市民参加部会のセンターイメージチェンジ事業の中で検討することになった。以前から希望していたキッズスペースや市民団体の制作物の展示スペース、パネルと机を組合わせた展示ブース、ふなばしセレクションの展示スペースなど市民活動サポートセンターのイメージチェンジにつながるような活用方法について、部会で検討することとなった。</p> <p>議題2 今後の事業の準備スケジュールについて</p> <p>第19回市民参加部会作業スケジュールを元に今期の2024年5月までの日程について確認した。</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業</p> <p>パネル展示</p> <p>2月から募集が開始できるように2024年度パネル展示募集要項を確認した。</p> <p>2. 市民交流参加事業</p> <p>2-1. 学術講演会について</p> <p>藤井先生の講演会について協議し、日程的に今期に実施することは困難なので、来期に持ち越しすることになった。</p> <p>2-2. 公募型交流会について</p> <p>前回検討した2024年度市民団体ワークショップ企画募集要項ver2に基づいて実施する場合、7月から募集が始まるので、今期にこれ以上は検討しないことになった。</p> <p>2023年度市民団体企画公募日程</p> <p>6月下旬 サポートセンター登録団体一斉配信メールで予告を配信。</p> <p>7月1日～7月31日 電子申請システムで交流会担当団体募集</p> <p>8月上旬 交流会担当団体選定 → 候補団体へのヒアリング → 担当団体決定</p> <p>8月下旬 広報原稿確定</p> <p>10月1日号 広報ふなばしで企画の参加者募集開始</p> <p>11月上旬 参加者募集締め切り</p> <p>11月16日(土)または17日(日) 講演会当日</p> <p>2-3. 市民活動はじめの一步ワークショップ(南山委員)</p> <p>市民活動はじめの一步ワークショップ企画案について、全体会配布資料と事前準備資料の両方を用いて検討した。</p> <p>検討の結果、どちらの形にするとしても、今期の残された期間で何かをしようとして、中途半端な形になってしまうので、本企画については、今期ではこれ以上は検討しないこと</p>
---	---